

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月17日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期： 2学期： 3学期： 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	7,555	891,618円	
宿舍費	6278	795,625円	
食費		円	外食費は娯楽費として換算した
図書費	171.92	22,429円	教科書代
学用品費		円	
携帯・インターネット費		15,833円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		37,109円	PCR検査代
保険費		30,660円	形態：明大サポート
渡航旅費		269,960円	
ビザ申請費		19200円	
雑費		19200円	パスポート申請料、写真代等
その他	350	41233円	SEVIS費
その他		182,568円	娯楽費
合計		2,325,435円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田国際空港 目的地：サンフランシスコ 経由地：

復路 出発地：ロサンゼルス 目的地：成田国際空港 経由地：

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社：JAL

料金：27万

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：

復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店（店名： ） インターネット（サイト名： ） その他（JAL 店舗）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

学生寮（寮の名前：International House） アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋（同居人数0）

3) 共有部分

バス トイレ キッチン（自炊可 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

明治大学先輩の体験談

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

最高でした。食事は美味しかったです。ダイニングホールはとても雰囲気が良く、新しい友達を作るには最適の場所でした。シャワーやトイレは平日毎日清掃されるのでとても綺麗でした。さらに、イベントも多く開催されていたので、そこでも新たな交友関係を築くことができます。特に、コーヒーアワーは週一回開催され、各国が主催の回もあるので非常に魅力的です。私たちが実際にジャパニーズコーヒーアワーを行い、大成功に終わりました。他の滞在先に住んでいる人と寮について話したことがありますが、それを聞く限り、インターナショナルハウスが一番良い気がします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例：現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所：)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

近所で何か犯罪などが起こったら、パークレーからメールが来ます。実際に盗難に巻き込まれたことはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は、SIMを新たに買って使っていました。月4ギガで3500円くらいでした。寮のWi-Fiは時々弱くなりますが、大きな問題などはありませんでした。基本的にパークレー内だとWi-Fiが繋がります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードは三枚持っていきました。そこから使っていたので、特に親に送金してもらうことはありませんでした。現金は3万円分持っていきましたが、途中で無くなったので、ATMでおろしました。アメリカの口座を持っていないと送金アプリが使えないので、友達と割り勘する時は、全て現金を使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にありません。しかし、薬は日本で使っているものや買ったものを持っていた方がいいと思います。体調が悪くなったら、薬局に行くことすら大変なので、慣れているもので対処したほうが楽です。ほとんどのものは現地で調達できるので、全て持っていく必要はないです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで払いました。大きい金額の支払いはだいたい2月と3月に集中していました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか? 10 単位以上		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	セッションA	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 140 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	マーケティングの基礎について、企業の実例を見ながら学ぶという形でした。Target, Brand Architecture, Product, Creating Customer Value, Place,Pricing, Promotion などについて学びました。主に 4P を中心に基礎から発展的な内容のマーケティングについて学んでいきました。	
試験・課題など	個人レポートが 2 回、グループプレゼンテーションが 1 回、期末テストが 2 個あり、shortanswer と選択肢問題でした。	
感想を自由記入	とても良い授業であった。教授の英語は早くなく、スライドもとても分かりやすかった。授業内容を理解しやすかった。授業中は発言する機会が多く、生徒たちも積極的に発言していた。それに加えて、ディスカッションの機会も多かった。常に考えておかなければならない。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
Advertising strategy		広告戦略
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	セッションA	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 140 分が 3 回	
担当教授	Bill Fanning	
授業内容	広告戦略について、実際 CM を見て分析したり、広告戦略の基礎から専門的な知識まで広範囲に学んだ。授業の内容が難しい時もあるが、ほとんど必ず実際の企業の広告を見せたり、教授がそれに関連した話をしてくれるので、理解することが出来た。広告を分析することはとても楽しく、段々とやってくるうちに、その広告の目的や工夫などが分かるようになった。最初は授業内容が難しいと感じかもしれないが、慣れてくればとても面白い授業である。	
試験・課題など	グループプレゼンテーションが二つ、中間試験、レポート課題、ファイナルプレゼンテーション、“What’s happening”	
感想を自由記入	この授業はマーケティングの授業と少し重なる部分があった。しかし、それとは違った視点から説明してくれるので、とても興味深かった。さらに、実際に広告代理店で働いている人や企業の方々がゲストスピーカーとして来てくれる時もあり、それらはとても貴重な経験であり、よい刺激となった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English Language Studies : The Media	メディア
科目設置学部・研究科	COLWRIT (Colledge writing program)
履修期間	セッションD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Shalle Leeming
授業内容	メディアについて主に文化と関連付けて学ぶ。メディアが私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのか。さらに、メディアがどのように表現しているのかなどを中心に学んでいった。さらには、社会問題である人種差別問題についても着目した。
試験・課題など	Final project (Presentation, Write Up, Fieldwork Assignments (実際に知人や友達、知らない人などにインタビューする), Media Journal, Quizzes, 動画を見ての感想。期末テストなどはなかった。
感想を自由記入	この授業は少人数で非ネイティブ用の授業であった。少人数であったため、ディスカッションなど発言する回数が多かった。また、教授との距離が近く、教授は生徒一人一人にしっかりと向き合っており、発言の機会を平等に与えていた。全体的に発言しやすい雰囲気なので、積極的に発言することが出来る。この授業はテストがないが、頻りに課題が出される。しかし、それぞれがそれほど大変な課題ではないので、苦ではない。プレゼンテーションはグループと個人の計2回あり、どれも事前に調査したデータを基にプレゼンテーションをするという形であった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Colledge Writing Programs
履修期間	セッションD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（主にディスカッションやプレゼンテーション）（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Becky Hsu
授業内容	この授業では、a "storytelling" speech, an informative speech, a persuasive speech を中心に学んでいった。それぞれのスピーチで重要な点や Ted などを見て彼らのスピーチを分析して、真似すべき点と改善できる点などについて考えていった。それらを基に自分で下書きを考えて、スピーチを行った。二週間おきに一つのスピーチを行うというスケジュールだった。
試験・課題など	課題：ビデオやリーディングをまとめる。プレゼンテーションの下書き、練習テストはなく、3つのプレゼンテーションがある。
感想を自由記入	この授業では、授業のほとんどがディスカッションなので、積極的に発言することが求められる。正直、この授業が一番大変だった。スピーチの下書きだけでも相当な時間を費やして構成しなければならない上に、本番は原稿を見ないで行わなければならないので、たくさん練習する必要がある。授業内のディスカッションでは、この授業も比較的少人数のクラスなので積極的に発言することが求められる。さらに、ほとんどの人がネイティブで喋るスピードが速いので常に集中する必要がある。スピーチ本番でも彼らのスピーチと比べてしまい自信を無くすことがある。しかし、この授業は一番の自分の成長を感じた授業でもある。最初のスピーチは、完全に飛んでしまったり、フリーズしてしまったり、緊張で上手く喋れなかったりして、出来が悪かったが、最後のスピーチでは、今までの失敗から色々学び、自分なりに工夫をして、最高のパフォーマンスを見せることが出来た。辛かったこともあったけど、それよりも達成感の方が強く感じられた授業だった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEIC 受験
	8月～9月	
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	選考, 出願, ビザ申請, パスポート, 寮費や学費の支払いなど。
	4月～7月	保険の申請, 航空券購入, PCR検査, 出国, 留学開始。
	8月～9月	留学終了, 帰国。
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は明治大学に入学してから継続的に英語学習に取り組んでいました。そして、漠然ではありましたが、いつか海外留学に行きたいという夢を持っていました。そんな中、コロナ禍により約二年間留学に行ける機会が失われ、留学に行くという夢を諦めかけていました。そんな中、カリフォルニア大学バークレー校のサマーセッションのプログラムを見つけました。それまで自分は TOEIC しか受けたことがなく、他の交換留学などの長期留学には TOEFL や IELTS などが必要だったので、出願の時期には間に合いませんでした。なので、すでに合格点を超えていた TOEIC のスコアを使ってこのプログラムに参加することを決意しました。その中でもバークレー校を選んだ理由としては、まず、世界トップレベルの環境で学ぶことです。せっかくアメリカに留学するならば、レベルの高いところで現地生たちと切磋琢磨したいと思っていました。さらに、過ごしやすい天候だったり、先輩方の体験談などを読んでいるうちに、より魅力的に感じたのでバークレーを選びました。留学前の準備としては、リスニングとスピーキングを特に伸ばすことをお勧めします。もちろん、単語やリーディングもやっていましたが、この留学を通じて特に重要だと感じたスキルはこの二つです。リスニングに関しては、主に YouTube を使って学習していました。自分の好きな海外 YouTuber の動画を見たり、Ted トークを使ってシャドーイングをしていました。ただ聞き流すのではなく、しっかりと字幕を付けて内容を理解してから、字幕なしで見た方がいいと思います。しかし、ここでしっかり聞き取れるから日常会話でも問題ないと思ってはいけません。なぜなら、動画の英語と実際の英語を聞くのは全く違うからです。なので、わざと音量を小さくしたり、わざと聞こえにくい状況を作るなどして、色々工夫してリスニングをするべきだと思います。スピーキングに関しては、オンライン英会話をしていました。これはリスニングの勉強にもなるのでお勧めです。オンラインなので、実際よりもリラックスした状態で喋れるので、留学に行く前の良い準備運動になります。大学の雰囲気はとても良かったです。キャンパスはとても広く、広い芝生のスペースなどもあるので、非常に伸び伸びとした環境でした。また、授業を受ける建物や図書館は非常にきれいなので勉強に非常に適しています。交友関係に関しては、授業よりも寮内で友達が出来ることが多かったです。最初は友達作りに苦戦しましたが、徐々に現地の生活にも英語にも慣れていき、自分からも声をかけることが出来ました。1 人でも友達を作ることで、そこから友達の輪が広がっていきます。彼らとは一緒に週末観光に行ったり、スポーツをしたり、パーティーに行ったりしました。なので、1 人でも多くの人と仲良くなることが重要です。現地の勉強は大変ですが、試験前などはしっかりと勉強すればそこまで難しくありませんでした。なので、しっかりと予習・復習することが必須です。プレゼンテーションなどは本番前に実際に友達の前で練習したりしてみてください。留学では、様々な困難に立ち向かわなければなりません。勉強、交友関係、日常生活など様々な状況で新しいことに挑戦しなければならない時があります。その時は、失敗を恐れずに一歩踏み出して挑戦してみてください。誰もあなたのミスなど気にしません。例え、あなたが恥ずかしいと思うような間違いをしたとしても、みんな数秒後に忘れていきます。人の目を気にせず自分のやりたいことに全力で挑んでください。一番怖いのは、失敗ではなく、後悔です。どうせ三カ月後には日本に帰ってきます。貴重な三カ月で何を得るのかは、自分の行動次第です。何事にも挑戦して、後悔のない留学生活を送ってください。応援しています。